27 転送

この章では、GP-Pro EX で作成した画面を GP で表示させるために、作成したプロジェクトファイル を GP へ転送する方法と、現在 GP に記憶されているプロジェクトファイルをパソコンに転送する方 法について説明します。

まず「27.1 設定メニュー」(27-2 ページ)をお読みいただき、目的に合った説明ページへ読み進んで ください。

27.1	設定メニュー	
27.2	USB 転送ケーブルで転送したい	27-4
27.3	イーサネット(LAN)で転送したい	
27.4	転送前にプロジェクトの変更点を確認したい(比較)	
27.5	CF カードにデータだけを転送したい	
27.6	パスワードで転送を許可したい	27-30
27.7	転送ツールの設定ガイド	
27.8	制限事項	27-43

27.1 設定メニュー





27.2 USB 転送ケーブルで転送したい

弊社オプション品の USB 転送ケーブル(型式: CA3-USBCB-01)を使用してパソコンと GP を接続し、プロジェクトファイル(*.prx)を転送します。



重要 • USB 転送ケーブルの仕様、取り付け方法は、ご使用の USB 転送ケーブルに付属されて います取扱説明書を参照してください。

27.2.1 詳細

 パソコン → GP に転送(送信) 選択したプロジェクトファイル(*.prx)を GP へ転送し、プロジェクトを表示できます。



 GP → パソコンに転送(受信)
 GP に記憶されているプロジェクトのデータを、新たなプロジェクトファイル(*.prx)としてパソ コン内に保存できます。



27.2.2 転送手順

パソコンから GP への転送(送信)

GPに始めてプロジェクトファイルを転送する場合の手順をご紹介します。

- MEMO

 送信動作の詳細については「27.7.2 送信のしくみ」(27-39 ページ)を参照してください。
 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 ジデ「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)
- 弊社オプション品の USB 転送ケーブルでパソコンと GP を接続します。
 USB ケーブルのドライバがインストールされていない場合は、ダイアログボックスが表示されますの で指示にしたがってインストールしてください。
 - MEMO
 WindowsXPのセキュリティレベルによっては USB ドライバインストール中に下記のような[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示されます。[続行(C)]をクリックすると CA3-USBCB-01 のドライバのインストールが開始します。インストールが終了したら[完了]をクリックします。

ハードウェア	アのインストール
1	このハードウェア: USB Link Cable (CA3-USBCB-01) を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XP との 互換性を検証する Windows ロゴテストに合格していません。 <u>くのテストが重要である理由</u> インストールを発行した場合、システムの動作が指なわれたり、システム が不安正になるなど、重大な障害を引き起こす要因となる可能性があり ます。今ずぐインストールを中断し、Windows ロゴテストに合格したソフ トウェアが入手可能かどうか、ハードウェア ペンターに確認されることを、 Microsoft は強くお勧めします。
	続行(C) (72ストールの存止(S))

2 GP の電源を ON します。GP には [初期転送モード] 画面が表示されます。英語画面が先に起動するので [Language] の右部分をタッチして [Japanese] に変更します。
 < GP 画面 >



GPをご購入いただいた直後 に電源をONした際の画面で す。一度プロジェクト転送を 行うと、以降はこの画面は表 示されません。 3 GP-Pro EXの状態ツールバーから画面転送アイコン 🗊 をクリックして転送ツールを起動します。



- 4 [プロジェクト情報]で転送するプロジェクトファイル名などを確認します。 違うプロジェクトを転送したい場合は[プロジェクト選択]ボタンをクリックしてプロジェクトを選 択できます。
- 5 [転送設定情報]で[転送先]が[USB]になっていることを確認します。[USB]でない場合は、[転送設定]をクリックすると、次のような[転送設定]ダイアログボックスが表示されるので[通信ポートの設定]で[USB]にチェックを入れ[OK]をクリックします。

町転送設定	×
通信ボートの設定	プロジェクト転送
• USB	⊙ 自動
C LAN	○ 全転送
☑ 自動検索	
ポート(検索) 🛛 😣	● 自動
PASV	○ 強制転送
ポート(転送) 21	
ОК	キャンセル

6 [プロジェクト送信]をクリックします。

転送が開始されます。次のようなダイアログボックスが表示されるので[はい]をクリックします。 同じプロジェクトファイルを再度送信する場合は表示されません。



転送中は次のダイアログボックスが表示され、通信状態が確認できます。

(GPは転送中モードに切り替わり、接続機器(PLCなど)との通信が切断された状態になります。)

▶ プロジェクト送信			
本作 US8	USB ボター環境のでいます。 ボスワードのチェックを開始します。 バスワードは変なれていません。 バスワードのチェックが終ていました。 ランタイムバージョンの確認を開始します。		,
			GP画面
			データ転送
			データを転送中です。 データ転送が終了するまで本体の電源を切らないで下さい。
		4-вл	

7 転送が完了すると、ダイアログボックスの状態表示が[転送中]→[転送完了]に変わります。 [閉じる]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

(GPはリセットされ、転送したプロジェクトの画面が表示されます。)

<u>劇プロジェクト送信</u>	X
本体 状態 USB 転送完了 パスワードのチェックを開始します。 パスワードのチェックが除了しました。 パスワードのチェックが除了しました。 ラシタイムバージョンの確認な勝くしました。 フロジェクケアイル確認 000の転送が除了しました。 ワロジェクがの確認を開始します。 ラシタイムバージョンの確認な勝くしました。 マロジェクアイルの転送が除了しました。 ラシタイムの転送を開始します。 フジャイムの転送が除了しました。 ラシタイムの転送が除了しました。 フロジェクトのの転送が除了しました。 ランタイムの転送が除了しました。 フロジェクトの転送が除了しました。 ランタイムの転送が除了しました。 アンドの転送が除了しました。 フォントの転送が除了しました。 アントの転送が除了しました。 フォントの転送が除了しました。 アントの転送が除すしました。 フォントの転送が除すしました。 アントの転送が除すしました。 フォントの転送が除すしました。 オレキンの転送を開始します。 フォントの転送が除すしました。 オレキントの転送が除すしました。 フォントの転送が除すしました。 オレキントの転送が除すしました。 フォントの転送が除すしました。 オレキントの転送が除すしました。 オレキントの転送 ロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロロ	

8 ダイアログボックスを閉じると転送ツールに戻ります。[閉じる]をクリックして転送ツールを閉じます。

GP からパソコンへの転送(受信)

GP が現在記憶しているプロジェクトのデータをパソコンに受信します。



- 1 弊社オプション品の USB 転送ケーブルでパソコンと GP を接続します。
- 2 GP-Pro EX の状態ツールバーから画面転送アイコン 🔊 をクリックして転送ツールを起動します。

🔊 転送ツール				_ 🗆 ×
ファイル(E) 転送(I) 影	設定(5) ヘルプ(出)			
i	プロジェクト送信	プロジェクト情報	Þ	プロジェクト選択
	プロジェクト受信	フロンエンドファイル名 [test.prx] (本体機種:AGP-3500T)		
	プロジェクト比較	日付 [2005/10/27 9:37]		
A	本体情報	作成者 [Pro-face]		
ڬ	CFカード接続	送受信用バスワード		
		転送設定情報	٥Ö	転送設定
		通信先 [USB]		
		プロジェクト転送 [自動]		
		システム転送 [自動]		
		<u> </u>		
				閉じる

3 [転送設定情報]で[転送先]が[USB]になっていることを確認します。[USB]でない場合は、[転送設定]をクリックすると、次のような[転送設定]ダイアログボックスが表示されるので[通信ポートの設定]で[USB]にチェックを入れ[OK]をクリックします。

▶ 転送設定	×
- 通信ボートの設定	プロジェクト転送
● USB	◉ 自動
O LAN	○ 全転送
▶ 自動検索	
ポート(検索) 🛛 😣	● 自動
E PASV	○ 強制転送
ポート(転送) 21	
ОК	キャンセル

4 [プロジェクト受信]をクリックします。次のダイアログボックスが表示されるので、受信するデー タの保存場所とプロジェクトファイル名を設定し、[保存 (S)]をクリックすると転送が開始されます。

名前を付けて保存			? ×
(保存する場所型:	🗹 デスクトッフ	- 🛍 🖻	* 📰 -
🗠 २८ १२४२४७ 🖳 २८ २७९२ - ७ अप २४७१० - ७			
771ル名(N):		\supset	保存⑤
ファイルの種類(工):	プロジェクトファイル(*.prx)	-	キャンセル

転送中は次のダイアログボックスが表示され、通信状態が確認できます。

☞プロジェクト受信		
本体 状態 USB 較送中	USB 本体へ接続しています。 バスワードのチェックを開始します。 バスワードのチェックが終了しました。 ブロジェクトの受信を開始します。 本体との接続を切断中です。	
		中断

5 転送が完了すると、ダイアログボックスの状態表示が[転送中]→[転送完了]に変わります。 [閉じる]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

▶ プロジェクト受信	
本体 USB w送完了	USE 本体へ接続しています。 パスワードのチェックな開始します。 パスワードのチェックが終了しました。 プロジェクトの受信を開始します。 本体との接続を切断しました。 プロジェクトを受信しました。 転送完了
	開じる

レシピ機能(CSV データ)など CF カードデータを使用しているプロジェクトファイルを受信する場合は、受信中に次のようなダイアログボックスが表示されるので CF カード内のデータを保存する場所を指定してください。[OK]をクリックすると、[プロジェクト受信]ダイアログボックスに戻り転送を完了します。

フォルダの参照			? ×
CFカードフォルダの選択			
 ゴ デスクトップ 			
			•
(COK	キャンセル	新しいフォルダ	N

6 ダイアログボックスを閉じると転送ツールに戻ります。[閉じる]をクリックして転送ツールを閉じます。

27.3 イーサネット(LAN)で転送したい

LAN ケーブルを使用して、イーサネットでプロジェクトファイル (*.prx)を転送します。



■ 要 • イーサネットで通信するためには GP にイーサネットの設定(IP アドレス、ポート番号 など)を行う必要があります。

MEMO ・ パソコンと GP 間の接続は、HUB を介さずに直接クロスケーブルで接続することもできます。

27.3.1 詳細

パソコン → GP に転送(送信)
 選択したプロジェクトファイル(*.prx)を GP へ転送し、プロジェクトを表示できます。
 ネットワーク上にある複数の GP に同じプロジェクトを転送できます。



 GP → パソコンに転送(受信)
 GP に記憶されているプロジェクトのデータを、新たなプロジェクトファイル(*.prx)としてパソ コン内に保存できます。

ネットワーク上に複数の GP がある場合でも、選択した1台の GP からデータを受信します。



27.3.2 転送手順

パソコンから GP への転送(送信)

GP に初めてプロジェクトを転送する場合の手順をご紹介します。

- MEMO ・送信動作の詳細については「27.7.2送信のしくみ」(27-39ページ)を参照してください。
 - GP ご購入時にあらかじめ設定されている IP アドレスのまま転送することもできます。

```
☞ あらかじめ設定されている IP アドレスで転送する」(27-20ページ)
```

・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
 (27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)

1 GP に LAN ケーブルを接続し、GP-Pro EX がインストールされているパソコンとネットワークを組みます。(パソコン側にも同じネットワークアドレスの IP アドレスを設定してください。)

2 GP の電源を ON します。[初期画面モード]画面が表示されます。英語画面が先に起動するので [Language]の右部分をタッチして [Japanese] に変更します。

初期転送モード	GPをご購入いただいた直後
Language JAPANESE	に電源をONした際の画面 です。一度プロジェクト転 送を行うと、以降はこの画
この度はお買い求めいただき、誠にありがとうございます。	面は表示されません。
本機は現在、初期転送モードになっています。	
この状態のまま転送(セットアップ)をおこなってください。	
注意:イーサネットで転送する場合は	
「イーサネット設定」をおこなってください。	
イーサネット設定	

3 GP に IP アドレスを設定します。[イーサネット設定]をタッチすると、次の画面が表示され、出荷時に設定されている内容が表示されます。

MEMO • IP アドレスは、10.***.*** で初期設定されています。*** の部分は個々の機種で異な ります。

				7.7
サブネットマスク:	255	0	0	0
デフォルトゲートウェイ: [0	0	0	0
ポート : [8000	

GP-Pro EX リファレンスマニュアル

- 4 IP アドレス、サブネットマスク等を変更し[設定]をタッチします。
 (例:1台目の GP,[IP アドレス]192.168.0.1、[サブネットマスク]255.255.255.0)
 そのほかの GP にも同じネットワークの IP アドレスを設定します。
- 5 再起動を確認するメッセージが表示されますので[はい]をタッチし、再起動します。 再起動後は再び[初期転送モード]画面が表示されます。
 - MEMO 1 度プロジェクトを転送すると、次回からは [初期転送モード] 画面は表示されません。 これ以降にイーサネット設定を変更したい場合は、GP のオフライン画面で変更してく ださい。
- 6 GP-Pro EX の状態ツールバーから画面転送アイコン ݤ をクリックして転送ツールを起動します。

🔊 転送ツール				
ファイル(E) 転送(<u>T</u>) 🚦	党定(5) ヘルプ(H)			
	プロジェクト送信	プロジェクト情報	Þ	プロジェクト選択
	プロジェクト受信	ブロジェクトファイル 名 [test.prx] (本体機種: AGP-3500T) コメント		
	プロジェクト比較	日 日付 [2005/10/27 9:37]		
Q + Q	本体情報	作成者 [Pro-face]		
ڬ 🔶 🧐	CFカード接続	送受信用バスワード <u></u>		▼ ►
		転送設定情報	00	転送設定
		通信先 [USB]		
		プロジェクト転送 [自動]		
		システム転送 [自動]		
		<u>]</u>		 閉じる <i>//</i>

- 7 [プロジェクト情報]で転送するプロジェクトファイル名などを確認します。 違うプロジェクトを転送したい場合は[プロジェクト選択]ボタンをクリックしてプロジェクトを選 択できます。
- 8 [転送設定]ボタンをクリックすると、次のような[転送設定]ダイアログボックスが表示されます。 [通信ポートの設定]で[LAN]を選択し、[自動検索]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

 ● 転送設定 通信ボートの設定 ○ USB ○ LAN ☞ 自動検索 ボート(検索) 8000 ÷ □ PASV ボート(転送) 21 	 ▼ ブロジェクト転送 ○ 自動 ○ 全転送 システム転送 ○ 自動 ○ 強制転送 	GP-Pro EXの[プロジェクト(F)]メ ニューから[画面転送(G)] - [転送設定(C)]を選択しても、同じ ダイアログボックスを開くことが できます。
C	K キャンセル	

GP-Pro EX リファレンスマニュアル

9 [プロジェクト送信]をクリックすると [本体の選択]ダイアログボックスが開き、ネットワーク上 にある GP の IP アドレスが表示されます。

🔄 本体の選択					×
追加	編集	削除			検索終了
IPアドレス	ポート	PASV	本体	参加局	自動/手動
192.168.0.1	21	使用しない	AGP-3500T		自動
192.168.0.2	21	使用しない	AGP-3500T		自動
192.168.0.3	21	使用しない	AGP-3500T		自動
				OK	キャンセル

- MEMO ・ パソコン側のサブネットマスクにあった GP のみが検出されます。
 - IP アドレスが自動検出されなかった場合は、[追加]をクリックして、手動で IP アドレ スを入力してください。

🔊 IPアドレスの追加	×
IP Address:	ポート 21
PASV	
OK	キャンセル

- パソコンと GP の間にファイアウォールやルータの設定によりアクセス制限がされている環境で転送できない場合に、[PASV] にチェックを入れると転送できるようになる場合があります」
- 10 転送したい GP の IP アドレスにチェックを入れて、[OK] をクリックします。転送が開始されます。 検索された、複数の IP アドレスにチェックを入れると、一回で複数の GP にプロジェクトを送信する こともできます。

『本体の選択					2
追加	編集	削除			検索終了
IPアドレス	ポート	PASV	本体	参加局	自動/手動
192.168.0.1	21	使用しない	AGP-3500T		自動
192.168.0.2	21	使用しない	AGP-3500T		自動
☑ 192.168.0.3	21	使用しない	AGP-3500T		自動
/					
				ОК	キャンセル

11 次のようなダイアログボックスが表示されるので[はい]をクリックします。(同じプロジェクト ファイルを再度送信する場合は表示されません。)

🔊 192.16	8.0.1	×	1
?	プロジェクト全 よろしいです;	≧転送を実行します。 か?	
	1‡เา	いいえ	

転送中は次のダイアログボックスが表示され、通信状態が確認できます。

以下は複数のプロジェクトを送信した場合の例です。

(GPは転送中モードに切り替わり、接続機器(PLCなど)との通信が切断された状態になります。)

\$体	状態	192.168.0.1	
92.168.0.1 92.168.0.2 92.168.0.3	転送中 転送中 待機中	ドライバを逆信しませんでした。 ドライバを認さればていました。 フォントの転送を開催します。 フロジェントの全転送を開始します。 プロジェントの全転送を開始します。 プロジェントを転送中1/8	
		192168.0.2 本体、撮視しています。 12.20 ードのチェックを開始します。 12.20 ードのチェックが使用します。 12.20 ードのチェックが使用します。 ランタイムパーションの構造を開始します。	GP画面
		192.168.0.3	テータ4005 データを転送中です。 データ転送が終了するまで本体の電源を切らないで下さい。

- MEMO ・ 複数の IP アドレスを転送した場合、1 台目が転送中になり、転送が進行すると2 台目が 転送を開始し、2 台目の転送が進行すると3 台目が転送を開始しと順次転送されます。
 - 各 GP に転送されるプロジェクトファイルにパスワード設定がされている場合は、パス ワードの確認が終わるまでは次の GP への転送に移りません。

12 転送が完了すると、ダイアログボックスの状態表示が[転送中]→[転送完了]に変わります。
 [閉じる]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
 (GP はリセットされ、転送したプロジェクトの画面が表示されます。)

☞ プロジェクト送信		
本体 192.168.0.1 東送完了 192.168.0.2 東送完了 転送完了 転送完了	192.168.0.1 フォントの転送が終了しました。 ブロジェクトの全転送を開始します。 ブロジェクトの転送が終了しました。 本体との接続を切断中です。 本体との接続を切断しました。 転送完了	
	192.168.0.2 フォントの転送が終了しました。 ブロジェクトの全転送を開始します。 ブロジェクトの転送が終了しました。 本体との接続を切断中です。 本体との接続を切断しました。 転送完了	-
	192.168.0.3 フォントの転送が終了しました。 ブロジェクトの金転送を開始します。 ブロジェクトの転送が終了しました。 本体との接続を切断中です。 本体との接続を切断しました。 転送完了	×
		閉じる

13 ダイアログボックスを閉じると転送ツールに戻ります。[閉じる]をクリックして転送ツールを閉じます。

GP からパソコンへの転送(受信)

GPが現在記憶しているプロジェクトのデータをパソコンに受信します。イーサネットで受信するには、すでに GP に IP アドレスが設定されている必要があります。

MEMO	•	受信動作の詳細については「27.7.3 受信のしくみ」(27-40 ページ)を参照してください。
	•	設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
		☞ 「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)

- IP アドレスはオフライン画面の「イーサネット設定」で設定します。
- 1 GP に LAN ケーブルを接続し、GP-Pro EX がインストールされているパソコンとネットワークを組み ます。(パソコンにも同じネットワークの IP アドレスを設定してください。)
- 2 GP-Pro EX の状態ツールバーから画面転送アイコン ➡ をクリックして転送ツールを起動します。 [転送設定情報]の[通信先]で[LAN]が選択されていることを確認してください。

■ 転送ツール ファイル(E) 転送(T) 設定(S) ヘルプ(H)			
「「「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」 「「」」」 「」」 「」」	プロジェクト 情報 プロジェクト 情報	Þ	プロジェクト選択
- プロジェクト受信	[test.prx] (本体機種:AGP-3500T)		
ブロジェクト比較	1 1 日付 [2005/08/23 11:02]		
▲ ● ● ● ● 本体情報	作成者 [Pro-face]		
○ ↔)	送受信用パスワード 		▼ }
	転送設定情報	00	転送設定
	通信先 [LAN]		
	ブロジェクト転送 [自動]		
	システム転送 [自動]		

3 [プロジェクト受信]をクリックします。[名前を付けて保存]ダイアログボックスが表示されるので、受信したデータの[保存する場所(I)]、[ファイル名(N)]、を設定し[保存(S)]をクリックします。

名前を付けて保存						? ×
保存する場所①:	🛃 デスクトップ	•	÷		* 🎟 •	
על דיאבאטא (<u>מ</u> קר איז איז) שער דיער <i>זיער</i> א						
マイ ネットワーク						
」 ファイル名(N):					保存(S	
ファイルの種類(工):	プロジェクトファイル(*.prx)			•	キャンセ	π [.
ファイル名(N): ファイルの種類(T):	プロジェクトファイル(*.prx)			•	保存(S キャンセ) N .

4 次のような [本体の選択]ダイアログボックスが表示され、ネットワーク上にある GP の IP アドレ スが表示されます。GP の IP アドレスにチェックを入れて、[OK]をクリックします。受信が開始され ます。

本体の進択					
追加	編集	削除			検索終了
IPアドレス	ボート	PASV	本体	参加局	自動/手動
✓ 192.168.0.1	21	使用しない	AGP-3500T		自動
				OK	キャンセル

MEMO ・ パソコン側のサブネットマスクにあった GP のみが検出されます。

• IP アドレスが自動検出されなかった場合は、[追加]をクリックして、手動で IP アドレ スを入力してください。

🔊 IPアドレスの追加	×
IP Address:	ポート 21
PASV	
OK	キャンセル

パソコンと GP の間にファイアウォールやルータの設定によりアクセス制限がされている環境で転送できない場合に、[PASV] にチェックを入れると転送できるようになる場合があります」

受信中は次のダイアログボックスが表示され、通信状態が確認できます。

▶ プロジェクト受信	
本体 192.168.0.1 転送中	192.168.0.1 本体へ 接続しています。 パスワードのチェックを開始します。 パスワードのチェックが終了しました。 プロジェクトの受信を開始します。 プロジェクトを受信中です。
	中断

5 受信が完了すると、ダイアログボックスの状態表示が[転送中]→[転送完了]に変わります。 [閉じる]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

▶ プロジェクト受信	
本体 192.168.0.1	192168.0.1 本体へ接続しています。 パスワードのチェックを開始します。 パスワードのチェックが終了しました。 プロジェクトの受信を開始します。 本体をの接続を切断中です。 本体をの接続を切断しました。 転送売了

レシピ機能(CSV データ)など CF カードデータを使用しているプロジェクトファイルを受信する場合は、受信中に、次のようなダイアログボックスが表示されるので CF カード内のデータを保存する 場所を指定してください。[OK]をクリックすると、[プロジェクト受信]ダイアログボックスに戻り 転送を完了します。

フォルダの参照		? ×	1
CFカードフォルダの選択			
 ゴ デスクトップ 田 会 マイドキュメント 田 会 マイ ドキュメント 田 会 マイ コンピュータ 田 会 マイ ネットワーク 		<u>^</u>	
	キャンセル	 「新しいフォルダ(N)	
<u></u>	112 Ch		

6 ダイアログボックスを閉じると転送ツールに戻ります。[閉じる]をクリックして転送ツールを閉じます。

あらかじめ設定されている IP アドレスで転送する

GPのIPアドレスは工場出荷時にあらかじめ設定されています。このIPアドレスのまま転送するには、転送を行うパソコン側のIPアドレスを変更します。



MEMO
・ 設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。
^{「デ}「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)

1 パソコンの IP アドレスとサブネットマスクを変更します。

IP アドレスを「10.255.255.1」から「10.255.255.254」の範囲内で設定し、サブネットマスクを「255.0.0.0」に設定してください。

MEMO ・ パソコンによっては、設定を有効にするためにパソコンの再起動が必要になる場合があ ります。

- 2 GP に LAN ケーブルを接続し、GP-Pro EX がインストールされているパソコンとネットワークを組み ます。
- 3 GPの電源をON します。[初期転送モード]画面が表示されます。英語画面が先に起動するので [Language]の右部分をタッチして [Japanese] に変更します。

イーサネット設定を行う必要はありません。

初期転送モード	
Language	JAPANESE
この度はお買い求め	いただき、誠にありがとうございます。
本機は現在、初期転	送モードになっています。
この状態のまま転送	(セットアップ)をおこなってください。
注意 : イーサネット	て転送する場合は
「イーサネット設定	」をおこなってください。
	イーサネット設定

4 GP-Pro EXの状態ツールバーから画面転送アイコン 🗊 をクリックして転送ツールを起動します。

▶□ 転送ツール			_ 🗆 ×
ファイル(E) 転送(I) 設定(5) ヘルプ(H)			
- 「 プロジェクト送信	プロジェクト情報	Þ	プロジェクト選択
	ブロジェクトファイル 名 [test.prx] (本体機種:AGP-3500T)		<u> </u>
	コメンド 日 日 [2005/10/27 9:37]		
本体情報	作成者 [Pro-face]		
OFカード接続	送受信用バスワード 		
	転送設定情報	QÖ	転送設定
	通信先 [USB]		
	プロジェクト転送 [自動]		
	システム転送 [自動]		
			開じる //

5 [転送設定]ボタンをクリックします。次のダイアログボックスが開きます。[通信ポートの設定]で [LAN]を選択し、[自動検索]にチェックが入っていることを確認して[OK]をクリックします。

🔊 転送設定	×	
┌通信ポートの設定────	「プロジェクト転送」 GP·	-P
O USB	· ⊡ 自動 ===	1 -
• LAN	C 全転送 US	达 ブィ
✔ 自動検索 ポート(検索) 8000 <u>+</u>	がて システム転送 がて ● 自動	25
PASV	○ 強制転送	
ポート(転送) 21		
0	K キャンセル	

GP-Pro EXの[プロジェクト(F)]メ ニューから[画面転送(G)] -[転送設定(C)]を選択しても、同 じダイアログボックスを開くこと ができます

6 [プロジェクト送信]をクリックすると[本体の選択]ダイアログボックスが開き、あらかじめ設定 されていた GP の IP アドレスが表示されます。IP アドレスにチェックを入れて、[OK]をクリックし ます。転送が開始されます。複数の IP アドレスにチェックを入れると、一回で複数の GP にプロジェ クトを送信できます。

「本体の選択					
追加	編集	削除			検索終了
IPアドレス	ポート	PASV	本体	参加局	自動/手動
10.4.9.140	21	使用しない	AGP-3500T		自動
				ок	キャンセル

MEMO ・ GP 側の IP アドレスやサブネットマスクを変更してしまうと検出されません。
 変更した場合はパソコン側もその設定にあった IP アドレスとサブネットマスクに設定しなおしてください。

転送中はダイアログボックスが表示され、通信状態が確認できます。

(GPは転送中モードに切り替わり、接続機器(PLCなど)との通信が切断された状態になります。)

10 プロジェクト送信			
本徒 10.4.9.140 転送中	- 10.49140 本値を発視しています。 バスワードのチェックを開始します。 バスワードは超短れていません。 バスワードは多短之代でしました。 ランタイムバージョンの電話を開始します。		
			GP画面
			データ転送 データを転送中です。 データ転送が終了するまて本体の電源を切らないで下さい。
		中断	

7 転送が完了すると、ダイアログボックスの状態表示が[転送中]→[転送完了]に変わります。 [閉じる]をクリックしてダイアログボックスを閉じます。 (GPはリセットされ、転送したプロジェクトの画面が表示されます。)

すプロジェクト送信		
本体 状態 10.4.9.140 転送完了	10.4.9.140 本体へ 接続しています。 パスワードのチェックを開始します。 パスワードのチェックが終 てしました。 ランタイムバージョンの 確認を開始します。 ランタイムバージョンの 確認が 終 てしました。 プロジェクトファイル 確認 OSの 転送を開始します。 ランタイムの 転送が終 てしました。 ランタイムの 転送が終 てしました。 ドライバを送信しませんでした。 ランタイムの 転送が終 てしました。 ドライバを送信しませんでした。 フォントの 転送が終 てしました。 ドライバを送信しませんでした。 フォントの 転送が終 アしました。 プロジェクトの 自動転送を開始します。 フォントの 転送が終 てしました。 オロジェクトの 自動転送を開始します。 プロジェクトの 自動転送を開始します。 プロジェクトの 転送が終 てしました。 本 体との 接続を切断中です。 本 体との 接続を切断しました。 転送完了	2

8 ダイアログボックスを閉じると転送ツールに戻ります。[閉じる]をクリックして転送ツールを閉じます。

27.4 転送前にプロジェクトの変更点を確認したい(比較)

27.4.1 詳細

現在 GP-Pro EX で開いているプロジェクト(または選択したプロジェクト)と、GP が記憶している プロジェクトを比較します。転送を行う前にどの画面を更新したのかを確認するのに便利です。



比較結果から次のことが判断できます。

- 画面番号が同じで、画面内容が異なる → 画面を更新した
- 画面がパソコンにのみ存在している → 画面を追加した
- 画面が GP にのみ存在している → 画面を削除した

 MEMO
 ・ イーサネット(LAN)で接続している場合でも、比較できるのはネットワーク上にある 選択した GP1 台のみです。

27.4.2 比較手順

現在 GP-Pro EX で開いているプロジェクトと、LAN で接続している GP に記憶されているプロジェクトと比較します。

МЕМО	設定内容の詳細は設定ガイドを参照してください。	
	☞ 「27.7 転送ツールの設定ガイド」(27-35 ページ)

1 GP-Pro EXの状態ツールバーから画面転送アイコン 🗊 をクリックして転送ツールを起動します。

▶️『転送ツール				_ 🗆 🗡
ファイル(E) 転送(<u>T</u>) 言	設定(5) ヘルプ(出)			
	プロジェクト送信	プロジェクト情報	Þ	プロジェクト選択
	プロジェクト受信	プロジェクトファイル名 [test.prx] (本体機種: AGP-3500T)		-
	プロジェクト比較	ゴメンド 日 日付 [2005/10/27 9:37]		
Q + Q	本体情報	作成者 [Pro-face]		
ڬ	CF力ード接続	送受信用パスワード <u> イ</u>		- -
		転送設定情報	00	転送設定
		通信先 [USB]		
		プロジェクト転送 [自動]		
		システム転送 [自動]		
		<u> </u>		
				閉じる

2 [転送設定]ボタンをクリックすると、次のような[転送設定]ダイアログボックスが表示されます。 [通信ポートの設定]で[LAN]を選択し、[自動検索]にチェックを入れて[OK]をクリックします。

🔊 転送設定	×
通信ポートの設定	プロジェクト転送
O USB	● 自動
• LAN	○ 全転送
☑ 自動検索	-システム転送
ポート(検索) 8000 🛨	●自動
PASV	○ 強制転送
ポート(転送) 21	
01	+
0K	

3 [プロジェクト比較]をクリックすると、[本体の選択]ダイアログボックスが表示されるのでプロ ジェクトのデータを読み出す GPの IP アドレスにチェックを入れ、[OK]をクリックします。

い 本	体の選択					×
	追加	編集	肖川 β余			検索終了
IP	アドレス	ポート	PASV	本体	参加局	自動/手動
	192.168.0.1	21	使用しない	AGP-3500 T		自動
1						
					OK	キャンセル

4 次のような [比較] ダイアログボックスが表示され、パソコンと GP 間で画面ごとに比較を行った結果が表示されます。

比較		
相違のみ表示		
ベース 共通		
プロジェクトファイル(PC)	プロジェクトファイル(本体)	結果
ベース1	ベース1	同じ
ペース2	ベース2	
ベース3	ベース3	相違
		880.7
		閉じる

 MEMO

 [相違のみ表示]にチェックを入れると、比較結果が[同じ]もの以外を表示します。
 プロジェクトに相違点がない場合や、比較するプロジェクトがGP内のプロジェクトが 全く別のファイルの場合はメッセージのみ表示されます。

Transfer Tool	Transfer Tool
プロジェクトに違いは見つかりません。	! 異なるプロジェクトです。
<u>ОК</u>	OK

5 確認後は[閉じる]をクリックして[転送ツール]を閉じます。

CF カードにデータだけを転送したい

27.5 CF カードにデータだけを転送したい

27.5.1 詳細

転送ツールの [CF カードツール] 機能で、現在 GP 内の CF カードに保存されているデータをパソコ ン側で確認できます。

パソコン内の CF カード出力フォルダと GP 内の CF カード間でデータを互いにコピーしたり、CF カード内のデータの削除やファイル名の変更などに使用します。

• データのコピー

プロジェクトを転送せずに、CF カード出力フォルダ内にある指定したデータ(レシピデータやイ メージデータなど)を GP 内の CF カードにコピーできます。

また GP 内の CF カードに格納されているデータ (アラームデータやサンプリングデータなど)をパ ソコン側にコピーできます。

例)作成したレシピデータ(ZR00000.csv)をCFカードへコピー



• CF カード内のデータを削除

GPに挿入されている CF カード内のデータを削除できます。

例) CF カード内のアラームデータ (Z100000.csv) を削除



27.5.2 転送手順

CF カード出力フォルダ内のレシピデータ(ZR00000.csv)を GP 内の CF カードにコピーします。

1 GP-Pro EX の状態ツールバーから画面転送アイコン 🗊 をクリックして転送ツールを起動します。

ST 転送ツール ファイル(E) 転送(I) 書	受定(5) ヘルプ(H)			
	プロジェクト送信	プロジェクト情報	Þ	プロジェクト選択
	プロジェクト受信	[test.prx] (本体機種:AGP-3500T)		Ĩ
	プロジェクト比較	コメント 日 日付 [2005/10/27 9:37]		
Q + Q	本体情報	作成者 [Pro-face]		
ڬ	CFカード接続	送受信用パスワード 		- -
		転送設定情報	00	転送設定
		通信先 [USB]		
		プロジェクト転送 [自動]		
		システム転送 [自動]		
		<u>,</u>		 閉じる

2 [CF カード接続]をクリックします。次のダイアログボックスが表示されますので、[オフライン接続]を選択して [OK] をクリックします。

(GPは転送中モードに切り替わり、接続機器(PLCなど)との通信が切断された状態になります。)

 ▶1 CFカード接続 ▼オフライン接続 (*) オフライン接続 	GP画面
 オンライン接続 本体はオフラインとなります。 CFカードへの読み込み/書き込みが可能です。 	データ転送 データを転送中です。 データ転送が終了するまで本体の電源を切らないで下さい。
<u> </u>	

MEMO • [オンライン接続]を選択した場合は、データ情報の確認のみできます。CFカード内の データのコピー、削除、移動などはできません。 **3** CF カードツールが起動しますので、左側のフォルダリストから CF カード出力フォルダ内の FILE フォルダを指定します。フォルダ内のデータが右側に表示されます。

₩ CFカード接続 - 192.168.0.1	
編集(E)表示(Y)	
Image: State	パソコン側のデータが表示 > されるエリア
	J
	٦
ALARM CAPTURE DATA FILE LOG SRAM TREND	GP内のCFカードのデータが く表示されるエリア
オフライン接続	

4 ツール右側に表示されたデータの中からレシピデータ(ZR00000.csv)を選択し、ツール下部の CF カードのエリアにドラッグ&ドロップします。

MEMO ・ レシピデータ (ZR00000.csv) 選択して、 🔁 をクリックしてコピーし、 CF カードのエリ アで 🔁 をクリックして貼り付けることもできます。

5 CF カードツールを × で閉じ、転送ツールに戻ります。 [閉じる]をクリックして転送ツールを閉じます。

27.6 パスワードで転送を許可したい

27.6.1 詳細

パスワードを設定することで、プロジェクトの送受信にプロテクトをかけることができます。 プロジェクトの送信・受信を行う際にパスワード入力用ウィンドウが表示され、入力したパスワード が設定しているパスワードと一致した時のみ転送できます。

特定の人だけが転送できるセキュリティ対策にご利用頂けます。

⊫ ĭ	×
プロジェクトの送受信用バスワ [、]	ードを入力してください。
パスワード	
	OKキャンセル

重要• パスワードを忘れると転送できなくなりますのでご注意ください。
• パスワードを3回間違って入力すると、転送は中止されます。

- MEMO
 ・ パスワード確認入力ウィンドウが表示されたまま何も操作されない状態で 10 分経過す ると警告メッセージが表示され、それから更に 10 分経過するとタイムアウトとなり強 制的に転送を中止します。
 - パスワードを設定したプロジェクトは、比較を行う場合や CF カードデータ転送を行う 場合にも同様のパスワードを入力する必要があります。

27.6.2 設定手順

パスワードを設定します。

重要・パスワードを忘れると転送できなくなりますのでご注意ください。

- 1 GP-Pro EX の [プロジェクト (F)] メニューから [プロパティ (I)] [プロジェクト情報 (I)] を選択します。
 - [プロジェクト情報]ダイアログボックスが開きます。



2[プロジェクト情報]ダイアログボックスの左の項目一覧から[パスワード]を選択します。

💣 プロジェクト情報		×
ファイル情報 機種情報 送信データ SRAM情報 SRAM情報 SCA	パスワード 編集 ブロジェクトファイルの編集 パスワード設定	
	送受信	
	プロジェクトファイルの送受信 パスワード設定 ※ パスワードを忘れると、開けたり送受信が出来なくなります。 大切に保管してください。	
	OK((2) キャンセル	J

3 [プロジェクトファイルの送受信]の[パスワード設定]をクリックします。次のダイアログボック スが開きます。

💣 ブロジェクトファイルの送受信管理用パスワードの設定 🛛 🛛
プロジェクトファイルの送受信管理用パスワードを設定してください。
パスワード
パスワード (再)
注意
パスワードを忘れるとプロジェクトファイルを送信や受信することが できません。
パスワードは人に知られないように注意し、安全な場所に保管 することをお勧めします。
OK(① キャンセル

4 [パスワード]に英数半角 24 文字以内でパスワードを入力します。 確認のため[パスワード(再)]にも同じパスワードを入力します。

パスワード	****
パスワード (再)	****

5 [OK] をクリックするとパスワードの設定が完了です。

27.6.3 転送パスワードの解除 / 変更

既に設定しているパスワードを解除します。

1 GP-Pro EX の [プロジェクト (F)] メニューから [プロパティ (I)] - [プロジェクト情報 (I)] を選択します。

[プロジェクト情報]ダイアログボックスが開きます。

プロジェクト(<u>F</u>)			
新規作成(<u>N</u>) 問((0)	CHL O		
	Cun+O		
上書き保存(<u>5</u>) 名前を付けて保存(<u>A</u>)	Ctrl+S		
プロパティ(<u>I</u>)		•	プロジェクト情報(<u>I</u>)
システム設定(⊆)			CFカード 出力フォルダ(<u>C</u>) データのプロテクト(<u>P</u>)
画面転送(<u>G</u>)		۲Ì	
ユーティリティ(工)		۲	
ED局(P)	Ctrl+P		
印刷プレビュー(⊻)			
最近使ったプロジェクト(」)			
アプリケーションの終了(X)			

2[プロジェクト情報]ダイアログボックスの左の項目一覧から[パスワード]を選択します。

💰 ブロジェクト情報		X
ファイル情報 機種情報 送信データ SRAM情報 SFAM情報 AFA	パスワード 編集 プロジェクトファイルの編集 パスワード設定 送受信	*
	プロジェクトファイルの送受信 ******** 「パスワード設定」 ※ パスワードを忘れると、開けたり送受信が出来なくなります。 大切に保管してください。	
	OK(Q) キャンセル	

3 [プロジェクトファイルの送受信]の[パスワード設定]をクリックします。次のダイアログボック スが開きます。

💑 ブロジェクトファイルの送受信管理用パスワードの設定 🛛 🗙
現在のプロジェクトファイルの送受信管理用パスワードを設定してください。
パスワード
ブロジェクトファイルの送受信管理用パスワードを設定してください。
パスワード
パスワード (雨)
注意
パスワードを忘れるとプロジェクトファイルを送信や受信することが できません。
パスワードは人に知られないように注意し、安全な場所に保管 することをお勧めします。
OK(Q) キャンセル

4 現在設定しているパスワードを入力します。

パスワード	****
-------	------

5 [パスワード]、[パスワード(再)]は空白のまま、[OK]をクリックします。パスワードが解除されます。

パスワード	
パスワード (再)	

 MEMO ・ パスワードを変更する場合は [パスワード] に新しいパスワードを入力し、 [パスワード (再)] にも同じパスワードを入力して [OK] をクリックします。

27.7 転送ツールの設定ガイド

パソコンと GP 間でプロジェクトを転送するためのツールを「転送ツール」と呼びます。 GP-Pro EX の状態ツールバーから [画面転送] アイコン 😭 をクリック (または [プロジェクト (F)] メ ニューの [画面転送 (G)] - [その他の転送 (E)] を選択) すると、転送ツールが起動します。

🔊 転送ツール			
ファイル(E) 転送(T) 設定(5) ヘルブ(H)			
「 () + () ブロジェクト送付	言 プロジェクト 情報	0	プロジェクト選択
マロジェクト受付 マロジェクト受付 マロジェクト比較 マロジェクト比較 マロジェクト比較 マロジェクト比較 マロジェクト比較 マロジェクト比較 マロジェクト比較 マロジェクト比較 マロジェクト マロジェクト	プロジェクトファイル名 [test.prx] (本体機種: AGP-3500T) コメント 日付 [2005/10/27 9:37] 作成者 [Pro-face] 送受信用パスワード		
	転送設定情報	٩Ö	転送設定
	通信先 [USB]		
	システム転送 [自動]		
	<u>, </u>		 閉じる

MEMO ・ GP-Pro EX をインストールせずに、転送ツールだけをインストールして使用することもできます。開発環境(作画を行うパソコン)とは別のパソコンで転送作業のみを行いたい場合などに便利です。

^(②)「27.7.4 転送ツールのみインストールして転送したい」(27-41 ページ)

設定項目	設定内容
プロジェクト送信	現在 GP-Pro EX で開いているプロジェクト(または[プロジェクト選択]で選択 したプロジェクト)を GP へ送信します。 CF カード出力フォルダを設定しているプロジェクトの場合、CF カード出力フォ ルダ内のデータは GP に挿入されている CF カードへ送信されます。 ^{CP} 「27.7.2 送信のしくみ」(27-39 ページ) 重要 • 送信を行うと GP のバックアップ SRAM に格納されているデータは消去されま す。
プロジェクト受信	接続している GP に記憶されているプロジェクトのデータを受信し、新規プロ ジェクト (*.prx) としてパソコン上の指定した場所に保存します。 CF カードを使用しているプロジェクトの場合、GP に挿入されている CF カード 内のすべてのデータも同時に受信され、指定した場所に保存されます。 ^{CGP} 「27.7.3 受信のしくみ」(27-40 ページ)

次のページに続きます。

設定項目	設定内容		
プロジェクト比較	現在 GP-Pro EX で開いているプロジェクト(または[プロジェクト選択]で選択 したプロジェクト)と、接続している GP に記憶されているプロジェクトを比較 し、その結果を表示します。 CF カード出力フォルダを設定しているプロジェクトの場合は、CF カード出力 フォルダと GP に挿入されている CF カード内のデータの比較も行われます。		
	接続している GP のシステムバージョン、GP が記憶しているプロジェクト情報 や画面情報を読み込んで表示します。		
本体情報	システムバージョン:本体機種、バージョン、ドライババージョン プロジェクト情報 : プロジェクトファイル名、コメント、日付、作成者 画面一覧 : ベース画面、ウィンドウ画面、共通画面などの各画面番号 と種類、コメント、サイズ、日付		
	CF カードツールを起動します。以下のように接続方法によって作業内容が異な ります。		
	 ○ オフライン接続 ○ オンライン接続 ○ オンライン接続 本(約はオフラインとなります。 CFカードへの読み込み/書き込みが可能です。 OK キャンセル 		
CF カード接続	 オフライン接続 CF カード出力フォルダと CF カード間で、ファイルのコピー、CF カード内の ファイルの削除、名前の変更などを行うことができます。 CF カードツールを起動している間、GP は転送中モードに切り替わり、接続機 器 (PLC など)との通信は切り離された状態となります。 		
	 オンライン接続 CFカード内の情報(ファイル名、ファイルサイズ、日付)が確認できます。 CFカードツールを起動している間も GP は接続機器(PLC など)との通信を行います。 MEMO 		
	 CF カードツール起動後、最後の操作から 10 分が経過すると GP との接続は自動的に切断されます。 		
プロジェクト選択	GP に転送したいプロジェクトファイル(*.prx)を選択するためのダイアログ ボックスが開きます。		
プロジェクト情報	現在 GP-Pro EX 上で表示しているプロジェクト(または[プロジェクト選択]で 選択したプロジェクト)の情報が表示されます。 [プロジェクト選択]で別のプロジェクトに変更すると、そのプロジェクトの情 報に更新されます。		
転送設定	[転送設定]ダイアログボックスを開きます。通信ポート(USB/LAN)の変更や、 転送方法の変更を行います。		
	└── └ 27.7.1 [転送設定]の設定ガイド」(27-37 ページ)		
転送設定情報	現在設定している GP との通信ポートや転送方法の設定内容が表示されます。 [転送設定]で設定を変更すると内容は更新されます。		

27.7.1 [転送設定]の設定ガイド

GP-Pro EX で [プロジェクト (F)] メニューの [画面転送 (G)] - [転送設定 (C)] を選択するか、転送 ツールで [転送設定] をクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。

町転送設定	X
通信ポートの設定	プロジェクト転送
• USB	● 自動
C LAN	○ 全転送
▶ 自動検索	「シフテム転送」
ポート(検索) 🛛 😣	◎自動
E PASV	○ 強制転送
ポート(転送) 21	
ОК	キャンセル

	設定項目	設定内容	
	USB	USB 転送ケーブルを使用して画面転送を行う場合に指定します。	
通信	LAN	イーサネット(LAN)を使用して画面転送を行う場合に指定します。	
。 ポ 	自動検索	[LAN] を選択している場合、同じネットワーク上にある GP を自動的に検索する かどうかを指定します。	
	ポート(検索)	[自動検索]を指定している場合、検索時のポート番号を設定します。	
の設定	PASV	[LAN]を選択している場合、ネットワークセキュリティの関係上、通信がうまく いかない場合に指定します。	
	ポート(転送)	[PASV]を指定した場合に使用されるポート番号が表示されます。	
プロジェクト	自動	転送しようとしているプロジェクトと、現在 GP が記憶しているプロジェクトが 同じものかどうかを自動的に比較し、同じプロジェクトだった場合は、変更・追 加した画面データだけを送信します。 新規にプロジェクトを送信する場合(GP にデータが何も入っていない状態)や、 既に GP に別のプロジェクトが入っている場合は、確認メッセージを表示して[OK] を選択した場合のみ、プロジェクト全体を送信します。	
転 送	全転送	転送しようとしているプロジェクト全体を送信します。GP内の既存のプロジェ クトは書き換えられます。	

次のページに続きます。

	設定項目	設定内容	
システム転送	自動	 プロジェクト送信の際、GP-Pro EX と GP 内のシステムバージョンを自動的に比較して、必要に応じてシステムプログラム¹、プロトコルプログラム²、フォント³を GP にダウンロードします。 ダウンロードが行われるのは次のような場合です。 GP にまだ何もデータが入っていない状態(ご購入時のままの状態)で転送を行う場合 GP が記憶しているシステムプログラム(Runtime)が GP-Pro EX のバージョンより古い場合 GP が記憶しているプロトコルプログラム(ドライバ)のバージョンが古い場合や、プロジェクトの接続機器の設定を追加・変更した場合 GP が持っていないフォントを画面作成時に使用した場合 	
	強制転送	プロジェクト送信の際、GPをフォーマットした後、システムプログラム ¹ 、プロトコルプログラム ² 、フォント ³ を強制的に GP にダウンロードします。 転送しようとしている GP-Pro EX のシステムバージョンが、既存のものより古い 場合でもダウンロードが行われます。	

1 GP上でプロジェクトを稼動するためのデータです。

2 使用する接続機器との通信に必要なデータです。

3 プロジェクトで使用するフォントデータです。

27.7.2 送信のしくみ

現在 GP-Pro EX で開いているプロジェクト(または選択したプロジェクト)を GP に書き込みます。 CF カード出力フォルダを設定しているプロジェクトの場合、CF カード出力フォルダのデータ (¥DATA と ¥FILE)は、GP 内の CF カードに保存されます。



MEMO • GP が記憶できるのは1個のプロジェクトファイル(*.prx)のみです。

- プロジェクトを送信する際、必要に応じてシステムプログラム、プロトコルプログラム、フォントなどのデータも自動的に GP にダウンロードされます。そのため転送に時間がかかることがあります。
 - CF カード出力フォルダに同じファイルがある場合は転送時に上書きされます。

既に GP に同じプロジェクトが入っていた場合は、変更や追加した画面データのみが送信されます。 GP にまだ何もプロジェクトが入っていない場合や別のプロジェクトが入っていた場合は、プロジェ クトのすべてが送信されます。

< GP に別のプロジェクトが入っている場合 >

例) GP に「Test.prx」が入っている状態で「Lesson.prx」を転送



27.7.3 受信のしくみ

現在 GP に記憶されているプロジェクトのデータを読み出し、パソコン内の指定した場所に新たなプロジェクトファイル(*.prx)として保存します。

CF カード出力フォルダを使用しているプロジェクトの場合、CF カードのデータ(¥DATA と ¥FILE) も、指定した場所に保存されます。



27.7.4 転送ツールのみインストールして転送したい

開発環境(作画を行うパソコン)とは別のパソコンで転送作業のみを行いたい場合は、転送ツールだ けをインストールして転送できます。

< 転送ツールの動作環境 (OS) >

- Windows 2000 Professional (SP3 以上)
- Windows XP
- Windows 98 (Second Edition 以上)
- Windows Me

転送ツールをインストールしているパソコンには、GP-Pro EX のインストールを実行で 重要 きません。転送ツールをアンインストールしてから GP-Pro EX をインストールしてくだ さい。

転送ツールのインストール

1 GP-Pro EX の CD-ROM を、転送を行いたいパソコンに挿入します。 次の画面が表示されます。

Pro-face Control of the second	GP-Pro EX
	転送ツール

2 [転送ツール]をクリックします。

MEMO ・ 既に GP-Pro EX がインストールされているパソコンでは、[転送ツール]を実行できません。

- 3 インストール先フォルダを指定します。初期設定では "C:¥Program Files¥Pro-face¥GP-Pro EX" が指定されています。
- 4 インストールが開始されます。完了したらパソコンを再起動してください。

転送ツールの起動~転送

1 パソコンのスタートメニューから [プログラム (P)] - [Pro-face] - [GP-Pro EX] - [転送ツール]を 選択します。



2 転送ツールが起動します。

▶️ 転送ツール			
ファイル(E) 転送(I) 設定	(5) ヘルプ(出)		
♥→■ ₹	ロジェクト送信	プロジェクト情報 プロジェクトは選択されてい	プロジェクト選択 ません。
7	ロジェクト受信		
*	ロジェクト比較		
*	体情報		
ە 😫 🐳 🥨	Fカード接続	<u>.</u>	▼ ▶
		転送設定情報	0 転送設定
		通信先 [USB]	
		プロジェクト転送 [自動]	
		システム転送 [自動]	
		<u> </u>	
			開じる

3 GPからプロジェクトを受信する場合は[プロジェクト受信]をクリックします。 プロジェクトの送信や比較を行う場合は[プロジェクト選択]でまずプロジェクトを選択します。

27.8 制限事項

27.8.1 転送時の制限事項

- プロジェクトを送信した場合、GPのバックアップ SRAM に格納されているデータ(サンプリン グデータなど)は消去されます。
- プロジェクトを送信する際、必要に応じてシステムプログラム、プロトコルプログラム、フォントなどのデータも自動的に GP にダウンロードされます。そのため転送に時間がかかることがあります。

ダウンロードが行われるのは次のような場合です。

- GPにまだ何もデータが入っていない状態(ご購入時のままの状態)で転送を行う場合
- GP が記憶しているシステムプログラム (Runtime)が GP-Pro EX のバージョンより古い場合
- GP が記憶しているプロトコルプログラム(ドライバ)のバージョンが古い場合や、プロジェクトの接続機器の設定を追加・変更した場合
- GP が持っていないフォントを画面作成時に使用した場合 ダウンロードが行われると GP は一旦リセットされ、起動後は転送した画面が表示されます。
- GP がオフラインモードの状態ではプロジェクトを転送できません。
- プロジェクトが送信されている間、GPは転送モードに切り替わります。その間はオフラインモードの状態と同様で接続機器との通信は切り離されます。
- GP が記憶しているシステムプログラム(Runtime)の初期化処理中に異常がある場合は、エラー メッセージが GP に表示され、再度プロジェクトファイルを転送する必要があります。

27.8.2 イーサネットを使用した転送の制限事項

- ルータなどを使用して別々のネットワークにあるパソコンと GP 間でも転送できますが、パソコン 側から別のネットワークにある GP を自動で検索できない場合があります。
- LAN カードを2枚以上使用しているパソコンでは、IPアドレスの自動検索をしても目的のGPを 検出できない場合があります。これはOSが先に見つけたLANカードに接続されているGPを検 索するためです。[本体の選択]ダイアログボックスで[追加]をクリックし、転送したいGPの IPアドレスを手動で設定してください。
- Microsoft Windows XP Service Pack2 を使用されている場合は、転送ツールを起動すると Windows ファイアウォールでブロックされているというメッセージが表示されますがブロックを解除すれ ばそのまま転送の作業ができます。ただし、複数台の GP に転送を行う場合は、[転送設定]ダイ アログボックスの[通信ポートの設定]で[PASV]を設定するか、ファイアウォールを無効にして ください。

27.8.3 CF カードツールの制限事項

- GP がオフラインモードの状態では CF カードツールを使用できません。
- CF カードにはデータの書き換え回数に制限があります。(500K バイトのデータ書き換えで約 10 万回)必ず他の記録媒体にバックアップをとってください。
- CFカードツール起動後、何もしない状態で5分が経過すると警告メッセージが表示されます。このメッセージが表示されてから更に何もしない状態で5分経過するとGPとの接続が自動で切断されます。

Memo